



# 学校だより



2月号

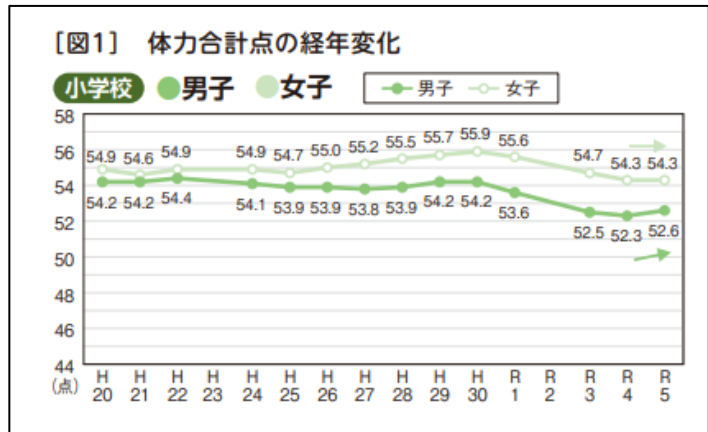
令和6年1月31日  
横浜市立善部小学校  
校長 朝川 健太郎

## コロナ禍からの脱却、回復を目指して

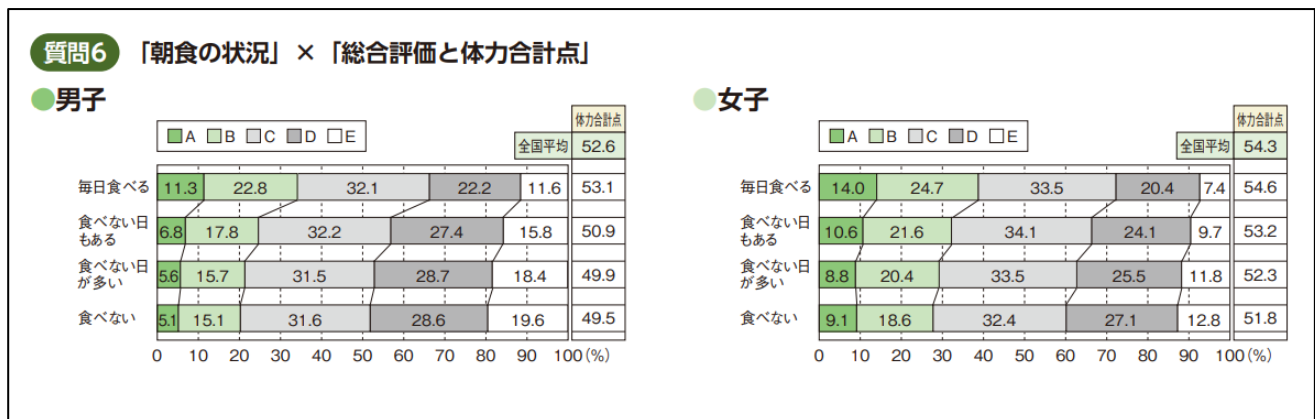
校長 朝川 健太郎

冬休みが明けて1か月が経ち、今年度もあと2か月となりました。具体的に日数を数えると、6年生は卒業まであと31日。1~5年生が登校するのはあと35日です。学習のまとめを行うとともに次年度に向けての準備を進めていきたいと思ひます。

さて、令和5年12月にスポーツ庁より「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」が公表されました。それによると、コロナ禍で令和元年から下がり続けてきた体力がやや回復傾向にあるとのこと。これは、令和4年度に行動制限が徐々に緩和され、児童生徒の運動の実施が元に戻ってきたことが要因と推測されます。しかし、コロナ前の水準にはまだ戻っておらず、引き続き運動習慣の本格的な改善、体力の向上が必要です。



しかしながら基本的な生活習慣を見ると朝食の欠食やスクリーンタイム(学習以外でテレビやゲームの画面を見ている時間)の増加傾向はコロナが明けても進んでおり、この影響が体力の発達のみならず健康的な生活にも影響を与えることが危惧されています。



今後は学校教育で運動を行うだけでなく、学校・家庭・地域が一体となって運動の楽しさや喜びを味わえるような取組を進めていき、子どもたちの生活習慣の改善と運動習慣の形成に努めていかなければなりません。善部の子どもたちが生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成に向けて、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(参考) [令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果:スポーツ庁 \(mext.go.jp\)](https://mext.go.jp)